

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業・**経常事業**)

事業の概要	事務事業名	人権擁護事業				担当部	市民生活部				
	会計区分	一般会計				担当課	市民安全課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	相談係			
	基本施策・展開方向	1 安全・環境		2 生活安全		3 相談体制を充実します					
	予算区分	款	2	項	7	目	1	大	05	中	01
	根拠法令・個別計画	人権擁護委員法									
	目的	何・誰を対象に	差別の無い社会を目指すため、あらゆる市民を対象にする。								
		どの様な状態にするのか	各種啓発活動を通じて、自由人権思想の普及・高揚を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>平成28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教室の開催 小学2年生対象 毎年2校ずつ実施(北里、陶小学校で実施) ・各種啓発事業の実施 いきいきこまき、人権啓発パネル展示、人権啓発作品コンクール入選作品の展示等 ・人権相談(心配ごと相談)開催 毎週水・金曜日 9時から15時 ふれあいセンターで開催 <p>平成28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 5,760円 ・需用費 2,400円 ・委託料 210,000円 ・負担金、補助及び交付金 147,300円 ・償還金、利子及び割引料 24,296円 <p>平成29年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 9,000円 ・需用費 160,000円 ・委託料 210,000円 ・負担金、補助及び交付金 154,000円 									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	669	2,343	390	533	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.40	0.30	0.30
			人件費	千円	1,688	2,251	1,688	1,688
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	2,357	4,594	2,078	2,221		
対前年比	%			194.9	45.2	106.8		
財源	一般財源	千円	2,357	3,244	2,078	2,221		
	国・県支出金	千円	0	1,350	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	人権相談開設日数	日	目標	102	101	101
実績				102	101	101	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	相談者数	人	目標	—	—	—	—
実績			156	112	121		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	中学生人権作文コンテスト、小中学校の人権啓発作品コンクール、いきいきこまきでの啓発活動、人権教室などを通じて人権擁護制度の周知を図った。					
		事業実施における課題	上記のような方法で制度の周知を図っているが、授業とのかねあいから、なかなか中学校で開催する人権教室が難しいところがある。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	8月に応募した、中学校人権作文コンテストでは、昨年度を200点以上上回る495点の応募があり、人権擁護制度の周知に役立ったと思われる。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
削減額・削減対象		事務事業評価による額	50	千円	予算区分	11	節	節
判定理由・削減内容		人権教室、いきいきこまきなどにおいて、人権擁護の啓発活動を行っているが、啓発物品の内容や個数の見直しを行い、需用費[消耗品費]50千円の削減を図る。						
	30年度以降の実施内容	従来の啓発活動を継続しつつ、啓発物品の購入については内容を精査し、経費の節減を図る。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な啓発に努められたい。